

電気制御基礎養成科について

保護者の方へ

1 はじめに

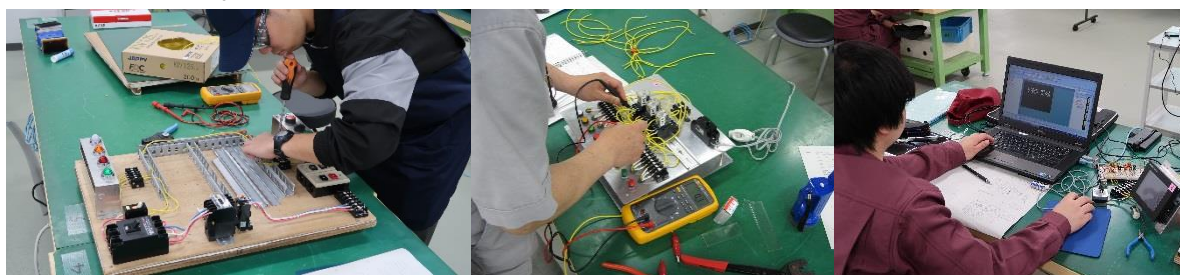
電気系ものづくりの仕事に携わりたいけれども、実際に働くにあたって技術を身に付けるためにどうすればよいか悩んでいらっしゃる方のお問い合わせを頂戴しています。また、この分野で働くことのイメージがはっきりしない、どのように活動すれば就職できるのだろうか、というお声も寄せられています。

当科は電気についての基礎的な技術や技能を習得し、初級技術者・技能者として、電気系ものづくり関連企業に就職することを目標としています。この資料をお読みになり、当科にご関心がございましたら施設見学をお勧めします。就職先の状況や就職指導についても併せて、ご説明を差し上げます。

2 当科が目指す就職先と仕事の内容

電気制御基礎養成科では、就業経験の浅い方が、電気分野でのものづくりの知識と技能及び社会人としての基礎知識を身に付けることで、主に電気系のものづくり関連企業への就職を目指します。

就職先での業務としては、生産設備製造業、制御盤・配電盤製造業、公共インフラ保守・点検業などの、電気制御技術を活用する電気系製造業関連企業で、制御盤の配線や機械の点検、制御装置のプログラミングなどに携わることを想定しています。



配線作業

回路の点検

PLCのプログラミング¹

就職先での業務イメージ

¹ PLC は、機械制御専用のコンピュータです。エレベータ・空調などの建物設備、工場の自動生産装置・検査装置その他、無人化省人化が求められる場所で、装置の司令塔として稼動しています。

3 電気制御技術と電気系ものづくり企業について

ここで、電気制御技術について説明します。多くの分野で稼働している無人化もしくは省人化された自動機械には、何が必要でしょうか。その答えが電気を使った制御です。つまり電気制御は幅広い産業の様々な業種に必要とされる技術基盤であり、したがってその習得は就職への近道ということが言えます。なお、電気制御技術の活用事例については、当科 Web 資料([入校を検討されている方へ](#)、[進路指導ご担当の方へ](#))の記載をご参照ください。

次に、電気制御技術を用いる電気系ものづくり企業は、どのような会社でしょうか。一つの目安として、日本標準産業分類による下記の産業に属する企業が、それらの主な対象となります。ハローワークインターネットサービス²で検索をかけて頂くと、多くの企業の求人を見出すことができます。

- はん用機械器具製造業
- 生産用機械器具製造業
- 業務用機械製造業
- 電気機械器具製造業

4 電気制御基礎養成科の特徴

(1) 訓練期間は4か月

4か月の訓練は、下図スケジュールに従います。初級技術者・初級技能者として電気制御技術分野で働き始めるための内容に絞り込むことで、一日も早く社会で活躍してもらうことをねらっています。なお、下図にある訓練の詳細内容については、[当科 Web 資料](#)をご参照ください。

	1か月目	2か月目	3か月目	4か月目
電気の基礎知識				
		リレーシーケンス制御		
			PLCによる制御	
	接遇・マナー、パソコン等の様々なスキル			

訓練スケジュール

² ハローワークがインターネット上で公開しているサービスです。ご利用にあたっては、ハローワークでの求職登録をお勧めします。

(2) 入校チャンスは2か月毎

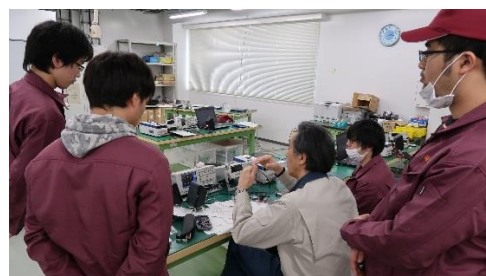
入校月が1年度に6回あり、東京都が実施する多くの職業訓練コースに比べて入校チャンスが多いことも特徴です。入校希望者の様々なご事情に合わせて入校月を選択しやすくしています。

前年度		本年度												次年度		
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
前年度 2月入校生																
		4月入校生														
			6月入校生													
				8月入校生												
					10月入校生											
						12月入校生										
							2月入校生									
																次年度 4月入校生

年間の訓練実施スケジュール

(3) 少人数のクラス構成

東京都の多くの職業訓練コースは1クラスが30人定員です。しかしながら、当科は1クラスを10人定員とすることで、生徒がきめ細かい指導を受けやすくしています。



(4) ラジオ体操で一日をスタート

就労に向けた規則正しい生活習慣を身に付けるため、毎朝、ものづくり企業の業務開始時の日課である出欠点呼、ラジオ体操、指差呼称による安全確認などを行い、さらに行事予定や訓練内容を連絡通知し、円滑な訓練実施を図ります。

これらは、就業環境を意識した集団訓練のため、ジョブセレクト科と合同で行います。



(5) 訓練指導体制

主要な訓練は、常勤の職業訓練指導員 2 名に加え、各専門分野に精通している非常勤講師（平成 31 年 2 月現在 10 名）によって進められます。

また、生徒個々の適性に合わせた適切な支援のため、非常勤の訓練運営アドバイザー³が 2 名配置されています。

(6) 就職支援体制

生徒の就職に向けて、下記の体制を組んでいます。

- 電気制御基礎養成科担当の指導員による指導
訓練の進み具合や、個々の生徒の能力や志向に応じて、コミュニケーションを取りながら、きめの細かい指導を行います。
- 授業中での就職対策
授業の一環として、接遇やマナーなどの社会人スキル、プレゼンテーション技法の習得により、面接技法や応募書類作成技術を向上させます。
- 校求人受付と紹介状発行
当科修了生に向けた求人票を企業から受付し、就職を希望する生徒を当該企業へ紹介します。
- 就職支援担当(2名)による各種の支援
毎週、曜日を決めて昼休み等に就職相談を受け付けています。また要望に応じて、応募書類作成支援や面接選考受験の練習も行っています。

(7) 電気系ものづくり企業での校外実習

ものづくり企業の現場見学を授業の一環として行います。現場体験により就業状態をイメージして訓練に取り組み、就職意欲の高揚が期待できます。

(8) 授業料が無料⁴

授業料を無料とし、経済的負担を最小限に抑えています。

³ 中学校や高等学校におけるスクールカウンセラに相当します。

⁴ 教科書代 2000 円程度、安全靴代 2700 円程度は必要です。その他、万が一の事故に備えて職業訓練生総合保険（3600 円）の加入をお願いしています。

5 まとめ

この資料では、学校卒業後に未就職の方や将来の目的が定まらず就業経験の浅い方をお持ちの保護者に向けて、多摩職業能力開発センターの電気制御基礎養成科についてご紹介しました。

この資料によって、社会への第一歩を踏み出すための、電気系ものづくり企業への就職を目指す職業訓練があることを知っていただき、さらに入校へご興味を持っていただければ、幸いです。

施設見学は随時可能ですので、お問い合わせをお待ち申し上げます。

以上



東京都立多摩職業能力開発センター
能力開発担当または 電気制御基礎養成科

196-0033 東京都昭島市東町 3-6-33

TEL 042(500)8700